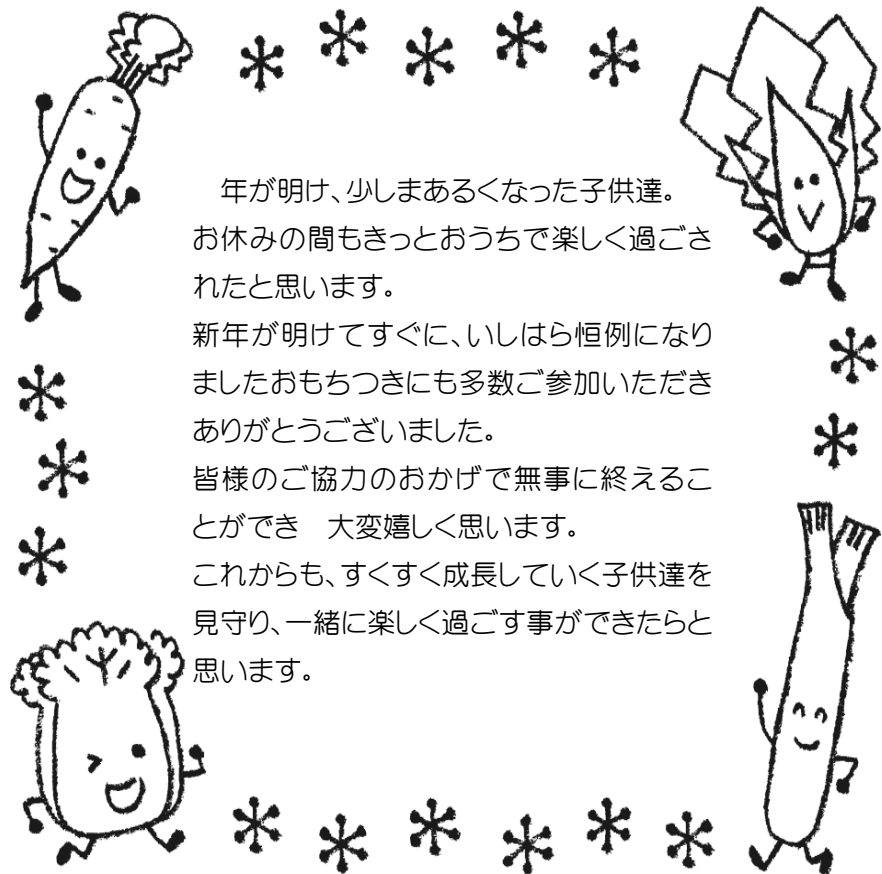
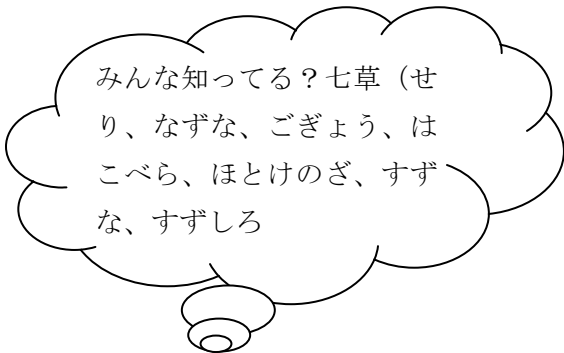


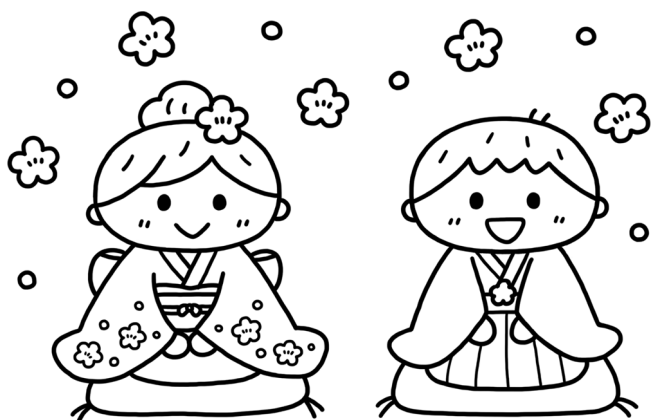
給食便り

いただきます～す！！

H29. 1. 25(水)
こども園 いしはら
給食室 No.128



年が明け、少しまあるくなった子供達。
お休みの間もきっとおうちで楽しく過ごされ
れたと思います。
新年が明けてすぐに、いしはら恒例になり
ましたおもちつきにも多数ご参加いただき
ありがとうございました。
皆様のご協力のおかげで無事に終えるこ
とができ 大変嬉しく思います。
これからも、すくすく成長していく子供達を
見守り、一緒に楽しく過ごす事ができたらと
思います。



伝統行事を大切にしよう

1月の正月から始まり、2月の節分、3月の桃の節句、春分や秋分と、日本には四季折々に合わせて根づいた伝統行事がたくさんあります。同じ行事でも地域ごとにやり方が少しずつ違っているのは、その土地の風習が受け継がれてきたものだからです。昔から行事のたびに作られてきた料理やお菓子を食べるのも、大きな楽しみの一つ。食を通して伝統行事のよさや大切さをあらためて見直し、子どもたちにつないでいきましょう。

「ハレの日」のごちそう

行事はもともと「神様を呼び、ごちそうを捧げる日」で、食と密接なかかわりがあります。「ハレの日」とも呼ばれ、食卓にはふだんと違うごちそうが並ぶ日でした。稲作を中心とする農作業の目安としてはもちろん、季節の変わり目に体調を崩さないようごちそうで体に栄養を与えるという目的もあります。行事食は、先人の食の知恵でもあるのです。

